

ういんぐきっず 放課後等デイサービス事業所

| | | チェック項目 | はい | どちらとも いえない | いいえ | 改善目標、工夫している点など |
|------------------|--|---|----|---------------|---|---|
| 環境・ 体制整備 | 1 | 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか | ○ | | | 勉強する場所と、活動する場所の区別をしている。また、クールダウンする必要がある時は1人で過ごせるよう工夫している。 |
| | 2 | 職員の配置数は適切であるか | ○ | | | 利用人数・障がい特性に見合った職員配置をしている。 |
| | 3 | 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか | | ○ | | 開所基準はクリアしている。 |
| 業務改善 | 4 | 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか | ○ | | | 日々の業務などは職員全員で話し、実践と振り返り、評価を行っている。 |
| | 5 | 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか | | ○ | | アンケートを実施し、できる限りの要望には応え、業務改善に繋げることのできるよう努めているが、全てにお応えできている訳ではない。 |
| | 6 | この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか | ○ | | | 公開している。 |
| | 7 | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか | | | ○ | 今後積極的に実施していく予定。 |
| 適切な 支援の 提供 | 8 | 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか | ○ | | | 外部研修に行った際は、参加職員がフィードバックしているが口頭でのフィードバックも多いため、今後は書面にしていく予定。 |
| | 9 | アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか | ○ | | | 本人のニーズは聞き取れていない子もいるが、保護者のニーズを聞き取り、分析。それと共に、日々の様子を観察した上で計画作成をしている。 |
| | 10 | 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか | ○ | | | 独自のアセスメントツールを使用している。 |
| | 11 | 活動プログラムの立案をチームで行っているか | ○ | | | 職員で話し合って立案している。 |
| | 12 | 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか | | ○ | | 平日は利用時間が短い子どももあり、課題・勉強で終わってしまう子もいるが、長時間利用時や、利用時間の長い時には違った内容のプログラムを組んでいる。 |
| | 13 | 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか | ○ | | | 集団遊びの中での課題を設定したり、個人の課題を設定している。また、休日や長期休暇では生活に密着した課題・お出かけ・お手伝い・調理等を行っています。 |
| | 14 | 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか | ○ | | | 設問9,12,13を参照。 子どもの障がい特性に合わせた計画を作成している。 |
| | 15 | 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか | ○ | | | 必ず申し送りを行い、前回の様子や当日の打ち合わせをしている。 |
| 16 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか | ○ | | | 基本的には、翌日に申し送りを行っているが、緊急を要することは、その日のうちに申し送りをしている。 | |
| 17 | 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか | | ○ | | 日々の様子は連絡帳に記載。支援の検証・改善は記録よりも職員間の話し合いや記憶でしていた為、今後は記録も活用し、支援の検証・改善に役立てていきたい。 | |
| 18 | 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか | ○ | | | 6ヶ月に1度、職員全員でカンファレンスを行い、計画の見直し・評価等を行っている。また必要性があれば6ヶ月以内でも見直しを行うようにしている。 | |

| | | | | | | |
|--------------|----|--|---|---|---|---|
| | 19 | ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか | | ○ | | 自立支援・創作活動・余暇などの支援を集団・個別で行っているが、地域活動に対しては支援が不十分である。 |
| 関係機関や保護者との連携 | 20 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか | ○ | | | 基支協会議には管理者等が参加し、情報・意見交換を行っている。その後、会議内容を全職員に報告している。 |
| | 21 | 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか | ○ | | | 学校との行事予定等の確認をできていないことがあります。本人中心支援会議や保護者様との伝え合いの中で行事等の把握に努めてまいります。 |
| | 22 | 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか | | | ○ | 該当者がなく未実施。今後、受け入れる場合は、体制を整えたい。 |
| | 23 | 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか | | | ○ | 1年生の4月～利用開始の場合、児童発達支援事業者や保育園などに情報を求める場合もあるが、基本的に保護者に状況を確認し、情報把握するようにしている。保育園や幼稚園などに情報を求めていない。 |
| | 24 | 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか | | | ○ | 該当者なく、未実施。今後、必要な場合、保護者に確認後必要な情報は提供していきたい。 |
| | 25 | 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか | | | ○ | 子ども未来センター等の研修に参加していますが、その他の専門機関(例えば就職支援センター等)に助言を求めることはほぼしていない。今後必要ならば求めていきたい。 |
| | 26 | 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか | | | ○ | 地域の公園に出かけて行き、偶然一緒に遊ぶことはあるが、意図的に交流を行ってはいない。 |
| | 27 | (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか | | | ○ | 参加できていない。今後、できる限り参加していきたい。 |
| | 28 | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか | ○ | | | 送迎時等で子どもの状況を伝え合い、情報共有をしている。また、何か変わったことがあれば、電話やメールで情報共有している。 |
| | 29 | 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか | | | ○ | 今後、専門的な知識を得るため、ペアレント・トレーニング研修があれば、積極的に参加していきたい。 |
| 保護者への説明責任等 | 30 | 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか | ○ | | | 見学时に支援内容の説明をしている。また、契約時に重要説明事項・契約書の説明を行っている。 |
| | 31 | 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか | ○ | | | 進学の相談等を保護者から受けた際は、一緒に調べたりしている。 |
| | 32 | 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか | | | ○ | 保護者から保護者会ではなく良いという意見が多かった為、保護者会などは開催していません。 |
| | 33 | 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか | ○ | | | 契約時に苦情窓口の説明をしている。苦情があった場合は迅速な対応を心掛けており、子どもたちにも、何か嫌な事やお願いしたい事があれば教えてと伝えている。 |
| | 34 | 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか | | | ○ | 子どもたちの日頃の様子や、活動内容はブログで発信している。行事予定はいつもギリギリになってしまうので、今後はもう少し早めに発信していきたい。 |
| | 35 | 個人情報に十分注意しているか | ○ | | | 情報ファイルは鍵付きの保管庫で管理している。 |

| | | | | | | |
|---------|----|---|--|---|---|--|
| | 36 | 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか | | ○ | | 取り組みは行っているが、不十分なところもある。研修に参加するなどし、知識を深めていきたい。 |
| | 37 | 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか | | | ○ | 事業所の行事に地域住民を交えたことはない。地域住民に開かれた事業運営のメリット・デメリットについて考えていきたい。 |
| 非常時等の対応 | 38 | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか | | ○ | | 緊急時・感染マニュアルは成してあるが、防犯マニュアルのみ作成の為、今後作成する予定。また、今までは職員のみ周知していた為、今後保護者にも周知していく。 |
| | 39 | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか | | ○ | | 非常時に備えて年1回の避難経路の確認をし、職員の動きを確認しているが、参加できていない子どももいる為、今後は2回に増やす予定。 |
| | 40 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか | | ○ | | 事業所の研修で機会を設けてはいるが、今後は外部の研修にも参加していきたい。 |
| | 41 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか | | | ○ | 該当者がいないため未実施。身体拘束について学び、必要であれば身体拘束の同意書を準備していく予定。 |
| | 42 | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか | | ○ | | 該当者がいない為、未実施。今後、アレルギー対応が必要になれば、医師の指示書に基づいた対応を行う。現在、アトピー対応で、おやつ希望(チョコはダメ等)を聞いている。 |
| | 43 | ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか | | ○ | | ヒヤリハットは作成している。 |